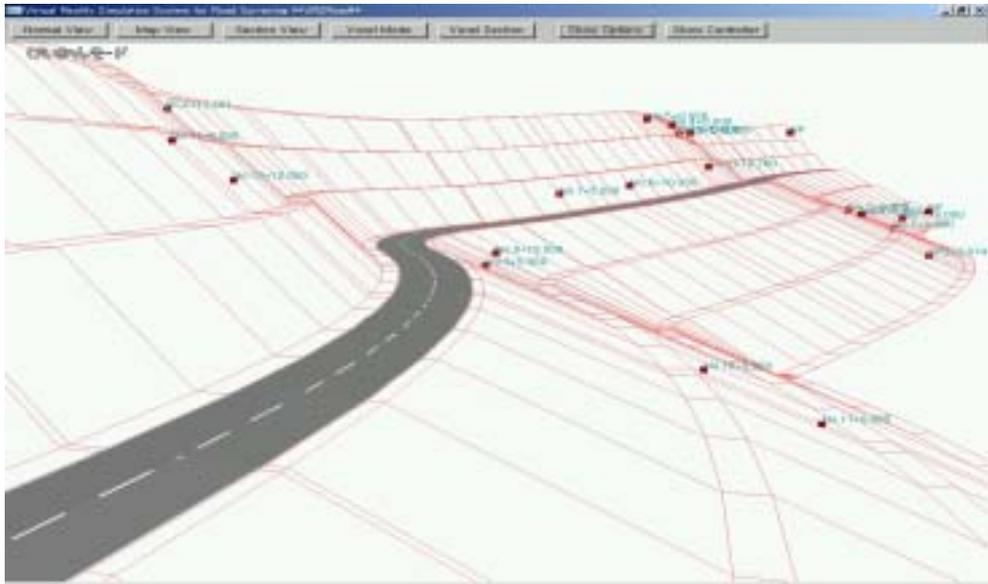


成果の実用化に関するお願い  
(販売先・共同開発等のパートナーについて)

受付番号： H12 - 0564	主分類	建築・土木構 造・設計	副分類	エネルギー	
課題名：新世代土木工事測量・支援システム					
(企業名) 株式会社コイシ					
(企業の主要な事業内容) 1. 工事測量専門の会社である。(着工前測量・丁張掛け・出来形測量) 2. 商品販売 土木用計算機「丁張マン」 その他 鋸ネクタイ・DOROカップ 3. 開 発 3D・光ファイバジャイロ・PDAと実用化に向かっている。					
(利用分野・用途) 1. 土木工事図面の設計ミスの早期発見(土木分野) 2. 土木工事のエネルギーロスの防止(土木分野)					
(特徴) 1. 今までの内業のデータ(エクセル)が3Dになる。 2. 実測値を入力するとズレが表示される。					
(従来技術・競合技術) 従来、エクセルの計算数字X,Y,Zを一覧にし、プリントアウトして作業している。 イメージの3Dはあると思うが、現場で作業する生の数字を3Dにするものはまだ市場にはない。					
(要望事項) 土木工事の「手戻り」(測量ミス・丁張ミス・施工ミス)を見つける3Dソフトを開発しました。土木現場のセキュリティーとして活躍できるものと思います。 販売に関するパートナーを探しています。					
					
(新技術の概要) 土木工事の設計図面を3次元化し、G.P.S等の実測データと重ね合わせ、「立体空間管理」することにより、施工前でも施工途中でも工事の完成予測を可能にする技術として、大分大学知能情報システム工学部でのバーチャルリアリティや拡張現実感(Augmented Reality)に関する研究成果と(株)コイシの「丁張マン」開発技術を基盤に土木工事測量・施工支援システムとして開発された。					